



## 2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 J - マサル

上場取引所 東

コード番号 1795 URL <http://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 苅谷 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 雅広

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 2020年5月29日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,755	10.0	478	24.0	484	24.0	331	19.1
2019年9月期第2四半期	5,231	12.4	386	26.9	390	26.9	278	16.3

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 306百万円 (10.9%) 2019年9月期第2四半期 276百万円 (26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	382.92	
2019年9月期第2四半期	322.45	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	8,991	4,063	45.2
2019年9月期	8,810	3,870	43.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,063百万円 2019年9月期 3,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		145.00	145.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,050	0.5	380	24.6	390	24.2	240	34.5	277.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	901,151 株	2019年9月期	901,151 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	32,208 株	2019年9月期	35,956 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	865,822 株	2019年9月期2Q	863,274 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の建築業界は、建築費の高騰や労働者不足の懸念が高まり、工期の延長や計画の見直しなどにより、全国の建築物着工床面積が前年比約7.9%減少しました。首都圏では労務が逼迫する中、東京五輪関連施設や大型再開発が相次いで竣工を迎え、仕上げ工事が最盛期となりました。

第3四半期以降につきましても、建築業界全体では、東京五輪関連施設の建設投資に一区切りがついた後も都心部の再開発案件、物流拠点等への中長期的な需要を背景に手持ち工事高は一定水準で維持されると予想されておりましたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴う世界経済の下振れ懸念から、今後の国内建築投資も影響を受ける可能性があり、先行き不透明な状況が続くと想定しております。

このような経営環境の中、当社グループは中期経営計画（2018年10月～2021年9月）の方針「成長（事業の拡大・顧客の拡大）」のもと、2年目となる今年度は「攻める」を方針として掲げ、以下の施策に取り組み業容の拡大、業績の向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間は、以下の施策に取り組んでまいりました。

#### [営業力強化]

- ・新規受注活動推進体制の構築
- ・元請ビジネスの強化と株式会社塩谷商会との営業連携強化
- ・首都圏マーケットの開発を目指す神奈川拠点設置計画の推進

#### [組織力強化]

- ・工事の繁閑に柔軟に対応できる組織体制の構築
- ・監理技術者増員を目指した人材育成

#### [差別化推進]

- ・品質向上を目指した社員個々人の技術力強化
- ・工事の安全確保を目指した技術開発

#### [働き方改革による生産性向上]

- ・IT装備の整備（テレワーク可能なコミュニケーションツールの整備等）

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、当第2四半期連結累計期間の受注高は大型工事案件が端境期に入ったことから38億59百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。売上高につきましては、前連結会計年度からの工事繰越高が高水準であったことに加え、追加工事が増加したことから57億55百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。利益につきましては、売上増加に伴い営業利益率が改善し、営業利益は4億78百万円（前年同四半期比24.0%増）、経常利益は4億84百万円（前年同四半期比24.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億31百万円（前年同四半期比19.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （建設工事業）

売上高は55億26百万円（前年同四半期比22.5%増）となり、セグメント利益は4億76百万円（前年同四半期比68.9%増）となりました。受注高につきましては、35億84百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

#### （設備工事業）

売上高は2億62百万円（前年同四半期比64.2%減）となり、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比97.4%減）となりました。受注高につきましては、2億74百万円（前年同四半期比35.8%減）となりました。

なお、当社グループは、完成工事物件の引渡し及び第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中するため、四半期連結会計期間の売上高には季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は73億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び完成工事未収入金が増加したことによるものであります。固定資産は16億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。

この結果、総資産は89億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億81百万円増加いたしました。

(負 債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は45億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金が増加したことによるものであります。固定負債は3億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は49億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は40億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.2%（前連結会計年度末は43.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月8日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,540,399	854,207
受取手形・完成工事未収入金	1,288,718	2,460,278
電子記録債権	389,778	511,364
未成工事支出金	3,678,427	3,207,399
材料貯蔵品	8,381	6,277
その他	242,733	286,185
貸倒引当金	△750	△1,433
流動資産合計	7,147,689	7,324,278
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	736,055	727,920
土地	447,020	447,020
その他(純額)	11,266	9,628
有形固定資産合計	1,194,343	1,184,569
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	49,958	44,839
無形固定資産合計	49,958	44,839
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,231	80,716
長期貸付金	26,129	12,650
その他	446,274	416,888
貸倒引当金	△72,363	△72,356
投資その他の資産合計	418,271	437,897
固定資産合計	1,662,573	1,667,307
資産合計	8,810,262	8,991,586

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	744,352	968,553
電子記録債務	352,604	358,106
短期借入金	25,000	75,000
1年内返済予定の長期借入金	403,153	378,434
未払法人税等	155,758	130,529
未成工事受入金	2,493,129	2,363,666
賞与引当金	115,537	55,009
役員賞与引当金	77,995	—
完成工事補償引当金	5,721	10,364
工事損失引当金	5,744	31,245
その他	204,427	214,164
流動負債合計	4,583,426	4,585,073
固定負債		
長期借入金	314,273	301,353
その他	41,620	41,620
固定負債合計	355,893	342,973
負債合計	4,939,319	4,928,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,261,600	1,262,182
利益剰余金	1,831,178	2,037,262
自己株式	△105,953	△94,914
株主資本合計	3,872,521	4,090,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,578	△26,688
その他の包括利益累計額合計	△1,578	△26,688
純資産合計	3,870,943	4,063,539
負債純資産合計	8,810,262	8,991,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
完成工事高	5,231,233	5,755,904
完成工事原価	4,364,473	4,802,455
完成工事総利益	866,759	953,448
販売費及び一般管理費	480,681	474,835
営業利益	386,078	478,612
営業外収益		
受取利息	152	169
受取配当金	200	212
受取賃貸料	918	1,150
技術指導料	3,094	5,912
その他	3,103	1,160
営業外収益合計	7,469	8,604
営業外費用		
支払利息	2,231	2,113
その他	750	740
営業外費用合計	2,981	2,854
経常利益	390,565	484,363
税金等調整前四半期純利益	390,565	484,363
法人税、住民税及び事業税	91,105	115,504
法人税等調整額	21,100	37,321
法人税等合計	112,206	152,825
四半期純利益	278,359	331,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,359	331,537

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	278,359	331,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,051	△25,110
その他の包括利益合計	△2,051	△25,110
四半期包括利益	276,308	306,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,308	306,427

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。